

春季消防演習 放水訓練 (5月28日 加茂川河川敷)

主な内容

- 加茂市成人式 ..... ②③
- 中学生武道授業見学会 ..... ④
- 加茂地区就職ガイダンス 2018 ..... ⑤
- 春の叙勲 ..... ⑥
- 加茂の風土記「七谷中学校校歌」 ..... ⑧

百年に一度の唯一の好機！

新加茂病院に産科の個室 20室を確保しました！ 妊婦の方々は、皆 個室を希望しています。

新加茂病院の隣りに病児保育園を確保しました！ お金は加茂市と田上町が負担！

この二つこそ絶対必要な少子化対策！

産科の個室が1つでは、医師も妊婦もやって来ず、産科は実現しません。



# 加茂市成人式2017 240人の新成人が出席



五月三日、文化会館で成人式が開催されました。

今年の成人式該当者は平成八年四月二日から平成九年四月一日までに生まれた人で、平成二十四年三月に中学校を卒業した人たちです。会場の大ホールには各中学校区ごとに分かれ、二百四十人が出席して式典が行われました。

平成八年は、アトランタオリンピック開催、ポケモンブームの始まり、そして海の日（当初は七月二十日）が制定された年でした。

式典で小池清彦市長は、新成人へ東洋哲学の易経から「天行は健なり、君子以て自強して息まず。」と、論語の中から「仁以て己が任と為す。」の二つの言葉を贈りお祝いしました。そして市長は、民主主義を守って独裁主義を阻止し、日本が誇る平和憲法を守って海外派兵と徴兵制を阻止することを新成人に託しました。また、少子化に対する問題には、育児休業三年の補償を国のお金で行うことにより安心して子育てができるようになり、北欧と同じように少子化から脱却することができると話しました。



久しぶりの再開を楽しむ新成人の皆さん







司会を務めた近藤真実子さん、菅家千幸さん、土佐遥奈さん（左から）



二十歳の誓いを述べる堀 勝洋さん



小池清彦加茂市長



山田義栄加茂市議会議長



式典には240人の新成人が出席

続いて山田義栄市議会議長が「成人という言葉には、法律的な意味と精神的な意味があり、社会に対する責任を自覚してください。社会生活ではバランスを取りながら、これからの人生を歩んでください。」をあいさつされました。新成人を代表して堀勝洋さんが「私たちが今あるのは、家族や友人、先生方、そして地域の方々の支えがあったからです。成人となったこれからは、責任を持った言動を心がけていきます。」と二十歳の誓いを述べました。

このあと、各中学校ごとに記念撮影を済ませ、産業センターでの立食パーティーで同級生との再会を楽しみました。



式典終了後の記念撮影



産業センターでパーティーを開催

# 中学生保健体育授業武道見学会



なぎなた

小池清彦師範と志田健太郎助教



空手道

金谷國彦八段と助川 茂四段



合気道

日野皓正五段と金沢 威七段



柳生新陰流剣道

志田健太郎助教と小池清彦師範



柔道

水信 健八段と高山誠太五段



剣道

坂内真子助教と番場 馨七段教士

## 全中学生六百八人が六種目の演武を見学

中学校の保健体育授業で秋に予定されている武道種目選択の参考にするため、見学会がありました。五月九日、文化会館に市内五校の中学生約六百人が集まり、演武を見学しました。演武されたのは、授業で指導していただく講師の方々です。選択種目は、柔道、剣道、合気道、空手道、柳生新陰流剣道、なぎなたの六種目です。

見学会は、授業で指導される講師の方々から、授業で行われる内容や模範演技を披露していただきました。この見学会の後、生徒の選択に合わせた道着や用具が揃えられ、十月から下条体育センターで授業が行われます。



# 来春の就職に向けて 加茂地区就職ガイダンス2018



五月十九日、産業センターで、来春大学、短大、専門学校を卒業予定の人と卒業後三年以内の既卒者を対象に、平成三十年春採用予定の企業説明会が開催されました。県央地区の企業を中心に雇用状況が上向いている中、四十八社（四十五ブース）から参加いただき、地元就職を希望する学生にとって大切な機会となりました。

はじめに小池清彦市長は「現在は、求職者の売り手市場ということ

とで学生の皆さんには幸せの時代、企業の方々には厳しい時代です。

今日も学生より企業の方が多い状況です。学生の皆さんはどうか、よい企業に就職され、また、繰り返しにきく限りは、繰り返したりしながら、仁の一字を己の生涯の任務として、幸せな人生を送ってください。」とあいさつしました。

続いてハローワーク三条の成澤康仁所長は「求人倍率は三条地区が県内で一番高く、また優良企業がたくさんあるところでもあります。

今日は企業や職業の理解を深めるためにも、多くの企業ブースをまわって、希望の就職先を見つけてください。」とあいさつされました。

各企業ブースでは、製品や業務内容を紹介したり資格取得について、企業担当者と学生の間で説明と質問が交わされました。

加茂市では、七月に来春高校を卒業して就職を希望する人を対象とした企業説明会を開催する予定です。

# 春の叙勲

春の叙勲で加茂市から土地改良事業と国勢調査の功労によりお二人が受章されました。

## 旭日单光章 (土地改良事業功労)



近藤 孝一さん  
(幸町1・80歳)

近藤さんは、平成六年から加茂郷土地改良区の理事となり、平成十八年から二十七年まで理事長として、農地整備に尽力されました。受章を伝えられたときは「びっくりしたと同時に組合員をはじめ大勢の皆さんから協力していただいたことに感謝しています。」と感想を話されました。

加茂郷土地改良区は、約五百へ

クターの農地の整備と管理を行っています。昔は水田へは用水路から畔を開いて水を流しました。それが、農業基盤整備事業を進めたこと、信濃川の大島頭首工ができたことにより、今では加茂郷のほとんどの水田の給水はバルブ操作だけでできるようになりました。

農家の経済的負担も大きいものですが、農作業の効率化や省力化などに理解と協力をいただいたからこそできたことと言えます。

思い出として、揚水ポンプの電気節約のため、稼働時間を調整したことや、平成二十一年八月の渇水期にポンプが故障した際の臨時ポンプ手配や対応などがあります。

趣味は「今はあまりないです」といいますが、農作業の合間に、近場の温泉や小旅行を楽しんでいると話していただきました。

## 瑞宝单光章

(国勢調査功労)



金子美智子さん  
(番田・73歳)

金子さんは、昭和五十年の国勢調査から統計調査に携わり、経済センサスや住宅土地統計調査など、各種の統計調査員として活動されています。受章の知らせには「はじめは、できる範囲でやればよいから」といわれ、前任者から引き継いだもので、「(受章が)本当だろうか、いただいているものなのだろうか」という思いでしたと話されました。

担当の番田地区は、昭和五十年代から住宅が増えたところですが、

小中学校の育成会活動などで、お互い顔見知りという方がほとんどでした。それで統計調査や調査票の回収に協力いただいたので苦労はなかったと言います。

平成八年からは民生・児童委員も務められており、育成会活動から始まってセーフティスタッフなどを続けていること、地域を歩いて周ることが生活の一部となっていることも統計調査をやりやすく・続けられる理由の一つではないかと思っています。

趣味では、コーラスグループを大切にしています。きっかけは加茂中学校のPTA活動で歌ったことで、その後もグループをつくって続けています。市民音楽祭など発表に向けた練習会では、メンバーのおしゃべりも歌うことと同じくらい大好きですと話していただきました。



## あなたの歯みがき習慣 「歯周病のケア」 できていますか？

### Q & A

Q：歯周病ってどんな病気？

A：歯周病は、歯垢（プラーク）の中の歯周病菌が歯肉に炎症を起こす細菌感染症です。進行すると歯を支える骨が破壊され、大切な歯を失うこともあります。成人の約八割がかかっている国民病であり、世界で最も患者数の多い病気でもあります。

Q：歯周病はなぜこわいの？

A：日本人が歯を失う原因のトップが歯周病です。自覚症状が少ないため、気づかないうちに進行してしまふのです。さらに、慢性的に歯周病にかかっていると、脳卒中や糖尿病など全身の病気にも影響します。



Q：歯周病のケアはいつから始めればいいの？

A：重度の歯周病は三十〜四十代から増え始めます。年齢とともに症状の深刻な人の割合が増えるものの、初期症状は十代にも見られます。歯周病予防に早すぎるということはありません。若いうちから歯周病予防を意識したケアを実践しましょう。

Q：「歯周ポケット」ってなんのこと？

A：歯と歯ぐきのすき間のことです。歯周ポケットには歯垢がたまりやすく、細菌が増殖することで歯周病が進行します。歯周病予防のために、まずは歯周ポケットを清潔に保つよう心がけましょう。



Q：歯周病って治るの？

A：初期の歯周病であれば、歯科専門家の指導に基づく適切なブラッシングにより進行を抑え、症状を改善することができます。しかし、進行すると専門的な治療が必要になり、特に重症な場合は外科手術が必要なことも。歯周病は早期発見、早期治療が大切です。

Q：歯周病に気づくサインはあるの？

A：歯ぐきの赤みや腫れ、血が出るなどは初期症状のサイン。左図のような歯ぐきの症状があてはまる人も要注意。鏡で毎日チェックして、気になる症状があれば歯科医院などで早めに診てもらいましょう。

（加茂市歯科医師会）

### 第37回

### 全日本学童軟式野球大会

### 中越大会予選会

期 日 四月二十九日・五月三日

会 場 七谷野球場

優 勝 田上ベースボールクラブ

準優勝 石川ビクトリーズ

※中越大会には大会日程の都合で石川ビクトリーズが出場

### 第69回

### 加茂市少年野球大会

期 日 四月二十九日

会 場 羽生田野球場

優 勝 葵中学校

準優勝 田上中学校



# 創立九年目に制定

## 念願の七谷中学校校歌

七谷中学校で待望の校歌が制定されたのは、創立九年目の昭和三十一年（一九五六）六月で、新築の体育館で披露された。資金の乏しい山間のPTA（日新会）では、

校歌制定と校旗作成のため昭和二十九年頃から三カ年計画で文化祭のバザーなどにより資金を積み立てて、ようやく念願の校歌ができあがった。

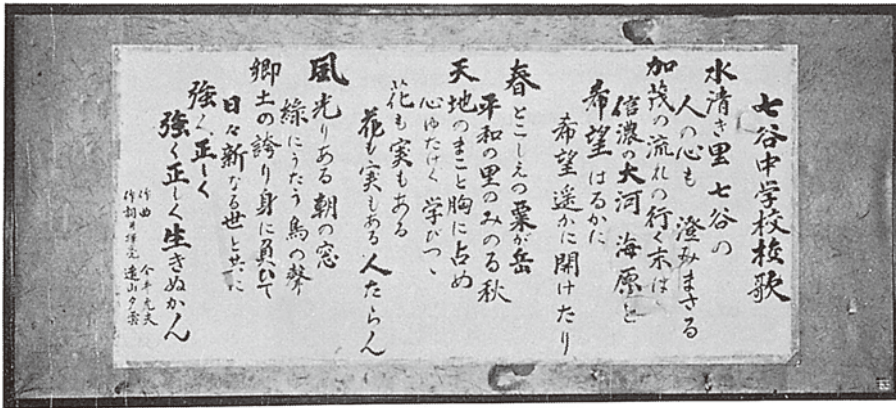
作詞者は、小千谷市生まれの歌人遠山夕雲（一八八四～一九七四）で本名を運平という。旧栃尾市内の小学校で教壇に立ちつつ、大正十年（一九二一）に相馬御風の短

の八方台や栃尾の秋葉公園に歌碑が建つ。

作曲の今井虎夫（一九〇二～八七）は、長岡女子師範学校（現新

# 加茂の風土記

歌結社木陰会に客員として招かれるなど歌人として活躍した。長岡市の四郎丸小学校・新町小学校や見附市の新潟小学校をはじめ多くの校歌を作曲した。短歌の教え子により長岡



七谷産和紙に書かれた遠山夕雲の筆による七谷中学校校歌

潟大学）と新潟大学で教授を勤めた。当時は新潟大学教育学部長岡分校音楽科の主事で、中越各地の小・中学校校歌の作曲を多く手がけた。七谷小学校二代目校歌も今井の作である。

遠山の詞に今井が曲をつけた校歌は、七谷中学校のほか小千谷市の片貝小学校、東小千谷中学校など中越で五校を数えるという。（折原明彦『校歌の風景』）。

発表会を前に、三年生から選ばれた六名が、先生に引率されて長岡分校で作曲の今井虎夫から歌唱指導を受けたという。卒業生の金田真知子は忘れられない思い出だと回顧している（創立三十周年記念誌『日日新たなる』）。

田浦米太郎（下大谷）の寄贈による伝統の七谷産和紙に、作詞者の遠山夕雲が筆をとった校歌額が、体育館に掲げられた。今、体育館に飾られている二代目校歌額は、第一回卒業生の書家小柳溪雲（文雄）の揮毫で、創立三十周年記念事業として新調された。元の額は、ボールなどの跡が修復されて校長室に納まる。

（長谷川昭一）

あいちとっく

社会福祉費寄付金  
▼加茂市場協進会から

二万五千元

### 人口のうごき

5月1日現在  
世帯 10,302 (+6)  
人口 28,004 (-15)  
男 13,573 (-5)  
女 14,431 (-10)  
( )内は前月比  
(4月異動分)  
出生 11 (男8女3)  
死亡 36 (男18女18)  
転出 57 転入 67